



**Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム招へい
(南米グループ) の記録**

テーマ：持続可能な開発（IUU 漁業）

1. プログラム概要

【目的】参加者は水産資源の持続可能な開発に関する取り組みと、違法・無報告・無規制漁業（以下、IUU 漁業）に対する日本の行政の現状と対策を学び、自国での漁業秩序の維持や IUU 漁業対策に活かすことを主目的として実施しました。

【参加者】

以下 5 カ国の社会人 計 5 名

ウルグアイ、エクアドル、コロンビア、チリ、ペルー

*五十音順

【訪問地】

東京都、新潟県

2. 日程

■ 事前学習（オンライン）：

10 月 25 日 来日前オリエンテーション、本プログラム事前説明

【オンライン】日本・異文化理解講義、日本語学習動画

■ 来日プログラム：

11 月 5 日 （日曜日） 入国

成田国際空港よりウルグアイ、コロンビア、ペルー訪日団入国

羽田空港よりエクアドル、チリ訪日団入国

11 月 6 日（月曜日）【オリエンテーション】来日時オリエンテーション

東京都より新潟県へ移動

【テーマ別視察】新潟海上保安部所属巡視船さど

【テーマ別講義】「第 9 回海上保安概要」

海上保安庁 第 9 管区海上保安本部 総務課 係長 小杉 裕一郎 氏

11 月 7 日（火曜日） 新潟県より東京都へ移動

【テーマ関連講義】

海上保安庁講義「海上保安庁の概要及び違法操業対策等について」

【テーマ関連講義】

水産庁「IUU 漁業の取締り、法的プロセスの説明」

【テーマ関連講義】

水産庁「日本近海で行われている IUU 漁業や対策の概要」

【テーマ関連講義】

水産庁「水産流通適正化制度について」

【表敬訪問】堀井巖外務副大臣

11月8日（水曜日） 視察

【視察】鎌倉市内

【視察】海上保安資料館 横浜館

11月9日（木曜日） 講義

【テーマ関連講義】「日本と南米における持続可能な漁業のための IUU 漁業
対策」講師：外務省経済局漁業室 主査 藤原 稔

11月10日（金曜日） 報告会、視察

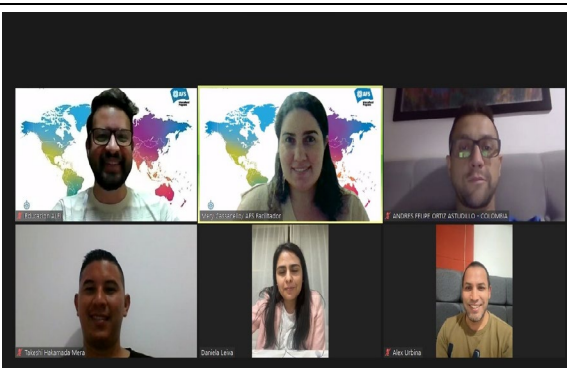
【報告会】

【都内視察】浅草

11月11日（土曜日）羽田空港よりウルグアイ、エクアドル、チリ訪日団出国

成田国際空港よりコロンビア、ペルー訪日団出国

3. プログラム記録写真事前学習



10月25日【来日前オリエンテーション】



11月5日【到着時集合写真】

来日プログラム



11月6日【テーマ関連視察】新潟海上保安庁
巡視船さど



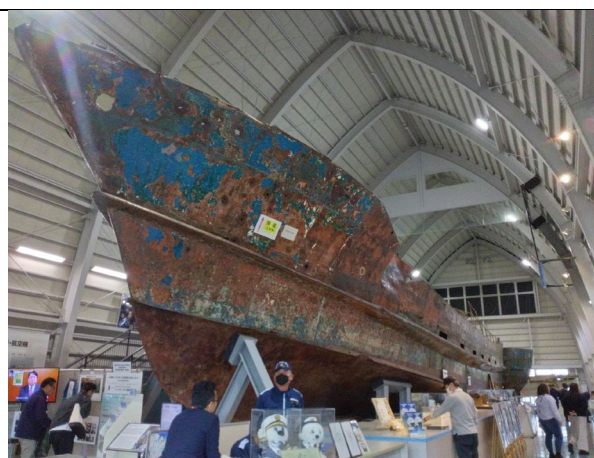
11月8日【鎌倉市内視察】



11月7日【表敬訪問】堀井外務副大臣



11月9日【テーマ関連講義】外務省経済局
漁業室



11月8日【視察】海上保安資料館横浜館



11月10日【報告会】プレゼンテーションの
様子

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ ペルー社会人

日本文化と表現に多くを学びました。

◆ ウルグアイ社会人

特に新潟海上保安庁の訪問が印象深かった。

◆ エクアドル社会人

全ての訪問地が興味深かったが、特に新潟海上保安庁の訪問が印象深かった。

◆ コロンビア社会人

日本の政府関係者の人々と会うのは興味深いものでした。彼らのプロセスとフレームワークについて詳しく知ることができました。文化は素晴らしく、人々はとても敬意を持っています。日本はとても清潔です。

5. 報告会でのアクション・プラン発表（抜粋）

南米グループ ②
・ 日本文化について：国民はとても礼儀正しく、礼儀正しく、効率的で親切です ・ 食べ物は非常に豊富で種類が豊富ですが、対照的に私たちの国の食べ物とは大きく異なります。 ・ 公共交通機関は非常に効率的、正確、高速かつ清潔で、広い範囲に網羅されています。 ・ 日本人の精神は、自分たちの国を大切にし、それを良い状態で次世代に受け継ぐものと感じました。 ・ 建築は古いものと現代的なものを調和のとれた方法で組み合わせ、空間をうまく利用しています。
今後の課題 ●日本国内の違法漁業の実態について含まれた内容であると更によかった。（海外船舶の違法漁業についてが主であった講義が多かったことから） ●帰国後、自国に帰ってからのアクションを共有できる場があれば嬉しい。

実施団体名：公益財団法人 AFS 日本協会